



ジェットコースターは、だれがはじめにつくったの

発明したのはアメリカ人のトンプソン

思わずキャーッと悲鳴を上げたくくなるような、スリル満点のジェットコースター。これを発明したのは、アメリカ人のトンプソン。1884年（明治17年）に、ニューヨーク郊外の遊園地コニー・アイランドにつくったのがはじまりとされています。

日本でジェットコースターとしてはじめて登場したのは、1955年、東京の後樂園遊園地です。

いろいろなスタイルがある、スリル満点のジェットコースター

大きなものでは、山梨県の富士急ハイランドにあるフジヤマというジェットコースターが、全長が2045メートルで、最高時速130キロメートルを出します。

世界では、アメリカのシンシナチ近くキングス・アイランドのもので、全長が2250メートルもあります。

車両が宙返りするループ状のジェットコースターは、やはり、山梨県富士急ハイランドにあるものが高く、ループの高さが地上29メートルもあります。

急しゃ面、宙返り、バック、急降下など、スリル満点のジェットコースターは、遊園地の人気ものです。（監修 青木国夫）

